

たかつき環境市民会議

第19回運営会議事録

日時 平成18年8月28日

場所 総合センターC601

出席者 浅原、石田、岡林、河合、川下、小林、清水、白岩、田村、西田、三ツ井
山本(志)、山本(忠)、横山、綿谷

高槻市 三宅、藤井 (敬称略)

議事

1 審議事項

1) アドバイザー委嘱の件

7月の運営会議で次の提案があった

「アドバイザーの任期が今年3月末で終了している。再任をお願いするのかどうか検討すべきではないのか」

<意見>

- ・ 9名のアドバイザーの専門分野が不明確である、明確化すべきである。
- ・ グループの個々の問題でアドバイスしていただける人は必要である。
- ・ 個々のアドバイザーの意見でなくアドバイザー会議の意見具申が必要ではないのか。
- ・ 規約の上ではアドバイザーの位置づけはあるがアドバイザー会議の位置づけはない。

<結論>

各アドバイザーの専門分野をチェックする。またアドバイザー会議の位置づけを役員会で検討し次回の運営会議に諮る。

2) 受託事業(11月18日)の運営主体の件

次のように提案の趣旨説明があった。

「活動調整部会が主体となって検討してきたが、事業内容をみると自然共生部会主体になって進めた方がいいのではないかと意見があり8月23日両部会の合同会議を開き討議した。結論として自然共生部会が主体となり、活動調整部会がアドバイスする形で運営することを決めた。ただし最終結論は8月29日の自然共生部会の会議の結果による。」

この趣旨は了承された。

<意見> 市民会議全体に関わる重要な事業なので、仕様書はただ添付するだけでなく、内容の詳しい説明をすべきである。

3) たかつきNPO協働フェスタ拡大実行委員会への参画について

役員会より次の提案をした。

11月18日の受託事業の成功に向け総力を結集する必要があり、市民会議としては参画しない。グループで希望があれば参画していただく。

< 結論 >

提案を了承する。このフェスタは私たち市民会議のPRの場として有効であり、実行委員会の段階から参画すべきである。温暖化防止グループの山本さん(志)ごみ減量グループの清水さんが委員会に出席する。

2 報告事項

1) 摂津峡クリーンハイキングの報告

8月27日(日)実施した

参加者	一般市民	17名	
	市民会議会員	23名	
	近畿ガス工事(株)	16名	
	(株)パソナ・大阪	21名	
	行政	5名	計82名

2) 打ち水大作戦報告

山本(志)さんから説明があった

3) その他

講座グループより次の報告があった

中学の理科系教師の研究会で、環境政策室などの協力を得て、環境問題の講師をしている。

第1回 概論(京都議定書を含む。環境講座グループ、綿谷)

第2回 エネルギー問題(外部講師、大阪ガス)

第3回 生態系(ごみ減量グループ、清水さん)

第4回 高槻の環境と環境政策について(環境政策室)

「子ども樹木博士認定試験」について里山グループより報告があった

7月30日実施。参加者26名。収入7,800円、支出9,562円。差し引き1,762円。欠損については里山グループで負担する。

その他不要になった街路樹の添え木の利用方法についていいアイデアがあれば申し出て欲しいとの要望があった。

以上

次回 9月25日 19:00より

場所:総合センターC601